

Yoshinobu Iwanaga Guitar Recital

# 10 .. 岩永善信ギターリサイタル 弦の世界 in新潟 16th



## プログラム

- 1▶ M.マレー／スペインのフォリアの主題による変奏曲 ※
- 2▶ M.T.vonパラディス／シチリアーノ ※
- 3▶ F.シューベルト／6つのワルツ ※
- 4▶ G.F.ヘンデル／組曲 第11番 ※  
アルマンド／クーラント／サラバンド／ジューグ

~~~~~ 休憩 ~~~~~

- 5▶ M.M.ポンセ／南のソナチネ  
I.カンポ II.コプラ III.フィエスタ
- 6▶ G.ビゼー／『アルルの女』第2組曲 ※  
第1曲 パストラール  
第2曲 間奏曲  
第3曲 メヌエット  
第4曲 ファランドール ※岩永善信編曲

## インタビューより

### ■CDを出さない理由

生のステージの、音楽全体の流れの中でしかうまれないものを僕は大切にしたい。そして、コンサート会場の空間に広がっていく音楽、その空気まるごとで奏でる音楽、そういうものを大切にしたいと思います。ただCDを出さないと広がりが遅いのはわかるから、将来的に絶対やらないとは断言出来ませんが、今のところはあまりやりたくないなあと…。

### ■録音と生のコンサートの違いはどこに？

録音では、細かい部分に気持ちがいらなくなって、へんに丁寧になりますね。生のステージでは、練習している時とも違って、直接オーディエンスに対することによって生まれる何か必ずある。その場やその時に伝えたいものが生まれる。それは録音で狙っても絶対に出ないものです。それが音楽には大事だと僕は感じます。

## プロフィール

パリエコール・ノルマル音楽院演奏家クラスを首席卒業。第1回日本ギターコンクール第1位入賞、第3回イタリア・ガルニアーノ国際ギターコンクール第1位入賞、第20回パリ国際ギターコンクール第2位入賞など数々の賞を受賞。その後、ベルギーを拠点にヨーロッパで演奏活動を展開、高い評価を得る。

1998年、演奏活動の拠点を日本におく。高度なテクニックと研ぎ澄まされた感性、楽器の枠を超えたダイナミックで豊かな演奏は、聴衆に大きなインパクトを与え、各地で熱狂的なファンを獲得し続けている。また、ソロ活動の他にもチェンバロ、フルート、声楽など他楽器とも共演し、ギターのジャンルを超えて広く支持されている。

2000年以降、活動の場を再び海外にも広げ、カーネギーホールを含むアメリカでのコンサート、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、ベルギー、モロッコ、チュニジア、シンガポール、韓国及び台湾など世界各地で意欲的に演奏活動を行っている。

2003年、シンガポール日本文化交流の実績により感謝状を贈られ、2004年より台中市吉他協会の特別顧問として台湾ギター協会の発展に寄与する。2012年、日本アジアギター教育協会の会長に就任し、アジアにおけるギター教育の発展に努める。2017年、アメリカコンサート及び中国公演を成功裏に終え、2018年も更なる展開が期待されている。

